

「五所川原市教育施策の大綱」（案）についての意見募集結果について

市が実施しました「五所川原市教育施策の大綱」（案）の策定にあたっての意見募集に対し、貴重なご意見をいただき、誠に、ありがとうございました。

いただいた意見の概要とそれに対する市の考え方は下記のとおりです。

記

1 意見募集期間

令和7年2月7日から令和7年3月9日まで

2 募集方法

市のホームページ (<https://www.city.goshogawara.lg.jp/>) に案の概要等を掲載したほか、市教育委員会教育総務課、行政資料スペースに備え付けました。

意見提出は、郵送、電子メール、FAXのいずれかの方法によることとし、提出言語は日本語としました。

意見提出にあたっては、提出者の氏名・住所（法人等の場合は、その名称・事務所所在地等の連絡先）の明記を条件としました。

3 提出された意見

1人の方から延べ1件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	合計
0件	0件	1件	0件	0件	1件

「文章修正等」・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

「記述済み」・・・既に記述済みのもの。

「実施段階検討」・・・計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。

「反映困難」・・・反映が困難なもの。

「その他」・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

意見の内容とそれに対する市の考え方及び意見を考慮した結果決定した案は、次のとおりです。

(提出された意見の内容とそれに対する市の考え方)

区分	提出された意見	市の考え方
1	五所川原市教育施策の改善提案 問題点と解決策を総合し、以下の改善を提案： 1. 教員の負担軽減と役割分担 ・学習指導と人間力教育を分担（スクールコーチ・支援スタッフの活用）。 ・部活動の地域移行を加速し、教員の負担を削減。 2. 道徳教育の強化 ・「人間力教育プログラム」の導入（キャリア教育、倫理教育）。 ・地域住民・企業と連携した実践型道徳教育の拡充。 3. AI・IoTを活用した学習の最適化 ・AIドリル、個別最適化学習アプリの導入。 ・教員の役割を「学習コーチ」「カウンセラー」にシフト。 4. 地域との連携強化 ・コミュニティ・スクールの拡充、学校を地域の学びの場に。 ・地域住民・企業と連携した学習体験を提供。 結論 五所川原市の教育施策には、多くの課題があるものの、「AI・IoT活用」「人間力教育」「地域との連携」を強化すれば、より良い教育環境が実現可能です。 教員の負担を軽減しつつ、学力向上と道徳教育のバランスを取るために、行政・地域・学校が連携しながら、未来を担う子どもたちの教育を進化させる必要があります。	貴重なご意見、また具体的、細部に渡ってのご提案、誠にありがとうございます。 五所川原市教育施策の大綱は、当市における教育施策の根本となる骨組みであり、また、計画期間となる令和7年度から令和11年度までの5年間の基本的な方向性を明確化するものであります。 今回、パブリックコメントを実施した五所川原市教育施策の大綱（案）の「大綱の位置付け」で記載しておりますとおり、教育委員会では大綱で示された教育施策の方向性を実践するため、施策に具体的な事業を貼り付けすることで実行計画の要素も含めた「五所川原市教育振興基本計画」も策定することとしております。 また、同計画は毎年度、点検と評価を行うほか必要に応じて改訂していくところです。 ご提案にございました各種取組の中には「部活動地域移行」「コミュニティ・スクールの拡充」など、令和7年度において取り組むこととしている事業もございます。 そのほかご提案頂いている各種取組につきましても、教員の負担軽減、学力向上と道徳教育、社会に開かれた学校教育への取組等について、今後、策定及び改訂していく教育振興基本計画の中で検討し、反映して参ります。